

■足立信頭(左内) 天文学者。蝦夷地拘留中のゴロヴニン尋問でロシア語をマスター、幕府天文方として改暦に貢献。

あだちしんとう

・・・・・・1769= 大坂の町医北谷琳筑の子に生まれる。

田沼意次老中1772= 3歳 :

鉄砲方同心足立左内正長の養子に入り、

船蝦夷来 1778= 9歳 :

蘭学階梯・・1783=14歳 : 家督を継ぐ。

幼時から算数を能くし、麻田剛立に師事して天文暦法を学んだ。

田沼意次失脚1786=17歳 :

寛政改革始・1787=18歳 :

松平定信引退1793=24歳 :

寛政改暦に際し、兄弟子にあたる高橋至時と間重富が天文方に徴され、

ポルト来航・1796=27歳 : 翌年にかけて、至時の手附下役として江戸へ出向。

一旦鉄砲同心に復帰したが、

青洲麻酔手術1805=36歳 :

重富が江戸に常住できない商家の主人なので、再度信頭が江戸に暦学御用手伝として迎えられ、

浮世風呂・・1809=40歳 : 出府した。

高田屋拿捕・1812=43歳 : *二丸火之番に取立られ、測量所出役となり、漸く御家人に収まり、家族を呼び寄せた。それも東の間、馬場佐十郎と同道し、蝦夷地松前に派遣され、同地に捕われ中のゴロヴニンを訊問、ロシア語も修得。

黒住教・・1814=45歳 :

その後はロシア語通詞としても重用され、ロシア語辞書を編纂、ロシア語数学書などの訳述も残す。

水野忠成老中1818=49歳 :

シボ来日・1823=54歳 :

鼠小僧磔・・1832=63歳 :

滑稽+人情本 1835=66歳 : *漸く天文方に任命され、この年出現したハレー彗星の軌道を計算、それに基づいて、
・・・・・・1836=67歳 : 「新修彗星法」を発表した渋川景佑とともに、前年に高橋景保・重富が始めたランデ天文書の訳述「新巧曆書」「新修五星法」を完成し、献上。ついで、西洋暦学に基づく改暦に着手、

大塩平八郎乱1837=68歳 :

天保改革始・1841=72歳 : *「天保壬寅曆」を実現、

天保改革弾圧1842=73歳 : その数理をまとめた「寛政曆書」三十五冊を上呈したが、その八冊は信頭が分担した。

阿部正弘首座1845=76歳 : 暦局官舎で、病没した。